

事項	ながいもむかごの植付け深さ、施肥時期及び栽植様式が1年子の形質に及ぼす影響		
ねらい	ながいもの種いも生産においては、目標とする子いもの重量が多様であり、首長が短く尻止まりの良い形状のものが望まれている。むかごからの1年子生産における植付け深さ、施肥時期及び栽植様式について、現地で行われている方法を検証したところ、子いもの形状や重量に及ぼす影響が明らかとなったので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 形状良好な1年子生産のための栽培法 むかごからの1年子生産において、深植え、早目施肥、2条植えを組み合わせることにより、子いもの首長が短くなり、深植えや密植によるいも重の低下が軽減できる。</p> <p>2 栽培条件と1年子の形質 (1) むかごの植付け深さ むかごを深さ10cmの深植えにすることにより、深さ3cmの浅植えに比べて萌芽が遅れ、いも重が小さくなるが、子いもの首長及びいも長は顕著に短くなる。</p> <p>(2) 施肥時期 施肥の開始を萌芽始め、終了を8月上旬として時期を早めると、萌芽期開始・8月中旬終了の体系に比べていも重がやや大きくなる。</p> <p>(3) 栽植様式 株間5cmの2条植え(3,333本/a)は、株間3cmの1条植え(2,778本/a)に比べて密植となることから、いも重はやや小さくなる。</p>		
期待される効果	首の短い1年子を生産して種いもとして用いることにより、新しいものできる位置が植え溝の中心から外れて形状が悪化すること等が防止でき、成いもの品質改善につながる。		
利用上の注意事項	<p>1 深植え条件において首長やいも長が極端に長くなった1年子は、遺伝的な変異の可能性があるので種いもとして用いないようにする。</p> <p>2 「園試系6」のウイルスフリーむかご(径9~15mm)を使用した結果である。</p>		
問い合わせ先(電話番号)	野菜研究所 品種開発部(0176-53-7419)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成24年度 試験成績概要集(野菜研究所)		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 むかごの栽培条件と1年子の形質

(平成24年 青森野菜研)

区番	萌芽揃 (月.日)	首長 (cm)	いも全長 (cm)	最太部径 (mm)	いも全重 (g)	収量 (kg/a)
1	7. 3	4.4 ±2.2 a	20.2 ±7.3 a	29 ±3 a	81 ±45 a	225
2	6.23	11.3 ±2.5 b	31.0 ±7.6 b	31 ±3 a	110 ±46 b	306
3	6.23	11.3 ±2.0 b	28.3 ±6.3 b	30 ±3 a	92 ±39 ab	307
4	6.30	6.5 ±5.9 a	25.1 ±7.8 ab	31 ±4 a	105 ±54 ab	350
対照	6.23	10.7 ±2.2 b	29.4 ±7.4 b	30 ±3 a	101 ±48 ab	281

- (注) 1 植付材料:「園試系6」ウイルスフリーむかご径9~15mm  
 2 定植月日:5月17日, うね幅:120cm, りん酸及び加里施肥量:各1.15, 1.6kg/a  
 3 首長は径12mmの部分までの長さ  
 4 各形質の数字は平均値±標準偏差. 同一英文字間にはTukey検定(5%)で有意差なし

(耕種概要)

区番	植付け 深さ	施肥時期と施肥N量 (kg/a)						株間	栽植様式
		6/8	6/15	7/13	8/2	8/10	8/15		
1	10cm		0.3	0.3	0.5		0.5	3cm	1条植
2	3cm	0.6			0.5	0.5		3cm	1条植
3	3cm		0.3	0.3	0.5		0.5	5cm	2条千鳥
4	10cm	0.6			0.5	0.5		5cm	2条千鳥
対照	3cm		0.3	0.3	0.5		0.5	3cm	1条植



1 (首短, いも重小)      2 (いも重大)      3 (いも重やや小)      4 (首短, いも重中)      対照 (いも重中)

図 1 いもの外観 (いも全重が平均値付近の4本) (平成24年 青森野菜研)

(注) 左端のスケールは10cm